令和８年第12回教育委員会会議録

１　日時

令和８年８月７日（金）15時00分

２　場所

教育委員会会議室

３　出席者

教 育 長：下川祥二
教育委員：原志津子、武部愛子、德成晃隆、沖田由香、谷口倫一郎
事 務 局：小川教育次長、齊藤理事
浦塚総務部長、八尋職員部長、鎌教育支援部長、井上指導部長、
中川原総務課長、花田教育政策課長、加耒服務指導課長、
前野教育支援課長、原田安全・安心推進課長

４　会議事項

⑴　付議事項
付議案第46号　令和７年度教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について
付議案第47号　議会の議決を経るべき議案に関することについて
付議案第48号　議会の議決を経るべき議案に関することについて
付議案第49号　教職員の人事について
⑵　臨時代理報告事項
なし
⑶　協議・報告事項
協議・報告ア　公益財団法人福岡市教育振興会の経営状況を説明する書類に準じた書類について

５　開会

教育長開会を宣告　15時00分
付議案第47号及び第48号は議会に報告する案件のため、付議案第49号は人事に関する案件のため、議決により非公開とされた。

６　付議事項

▼付議案第46号　令和７年度教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について

花田課長より説明

《原案どおり可決》

〔質疑等〕

（徳成委員）

○　51ページに学識経験者２名からの意見が記載されているが、この意見に基づき点検・評価報告書を修正した箇所はあるのか。

（花田課長）

○　記載されている意見については、今後の事業推進にあたっての参考にさせていただきたいと考えており、点検・評価報告書の内容自体は修正してはいない。

（武部委員）

○　51ページ以降の意見等については公表されないのか。

（花田課長）

○　51ページ以降も併せて公表する。

▼付議案第47号　議会の議決を経るべき議案に関することについて

中川原課長より説明

《原案どおり可決》

▼付議案第48号　議会の議決を経るべき議案に関することについて

原田課長より説明

《原案どおり可決》

▼付議案第49号　教職員の人事について

加来課長より説明

《原案どおり可決》

７　臨時代理報告事項

なし

８　協議・報告事項

▼協議・報告ア　公益財団法人福岡市教育振興会の経営状況を説明する書類に準じた書類について

前野課長より説明

〔質疑等〕

（徳成委員）

○　貸与の申請者は減っていっているが、過年度の滞納額がなかなか減っていかない。回収のための管理コストや事務負担も問題だとは思うが、経済的困窮による返済猶予も含め、回収不能による不能欠損処理など行っているのか。

（前野課長）

○　教育振興会の制度として、本人が死亡したり障がいを負った場合など恒久的に返済が困難になった際に、返済を免除する制度がある。

　また、時効を迎えた債権については不能欠損処理を行うこともある。

（徳成委員）

○　４月から高校授業料無償化が拡充され、授業料以外の補助については国の奨学給付金があり、振興会の奨学金のあり方も大きな転換点を迎えていると思う。現在の見通しとして、奨学金申請者が大幅に減る見込みはあるのか。

　また、全国的には給付型の奨学金を創設している自治体もあるが、その辺の見通しなどはあるか。

　以前、奨学金申請の際の連帯保証人が見つからないという相談を受けたことがあるが、いまも変更ないのか。

　様々な申請のＤＸ化が進んできているが、奨学金申請についてはどうか。

（前野課長）

○　奨学金貸与人数は、申込者数が令和６年度1,066人から７年度1,063人で横ばい、実際に採用された人数が556人から580人と大きな変化は見られない。

　給付型奨学金については、政令市20市のうち11市で導入されているが、採用条件は、福岡市と比べ厳しめである。そのような状況も見極めながら、給付型奨学金については検討を進めていく。

　連帯保証人については、原則保護者でお願いしており変更はない。

　申請方法については、在籍の中学校を経由して紙媒体での申請となっているが、他の奨学金制度の状況にも留意していきたい。

（原委員）

○　公立と私立で貸与の金額等は異なるのか。また、物価高の状況であるが奨学金額について過不足はないのか。

（前野課長）

○　公立と私立の違いについては、まず入学資金が公立50,000円、私立100,000円となっている。また、月々貸与する奨学資金は、公立３種類、私立３種類のそれぞれ異なる金額の中から選択できる制度となっている。

　金額の過不足については、奨学生にアンケートを実施しているが、金額の増額についての要望は特に出ていない。

（谷口委員）

○　郡（こおり）教育振興基金事業の高校生留学奨励事業については、毎年何名程度が活用しているのか。

（前野課長）

○　令和７年度が２人、６年度が５人、５年度が５人、４年度が６人、３年度が６人となっており、昨年度がやや少なかった。

９　閉会

教育長閉会を宣告　16時17分